

平成 16 年 9 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 16 年 7 月 23 日

上場会社名 株式会社タカトリ (コード番号：6338 大証第二部)
 (URL http://www.takatori-g.co.jp) (TEL :(0744) 24 - 8580)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 増田 好美
 責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 北村 吉郎

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における認識の : 無
 方法との相違の有無

2 平成 16 年 9 月期第 3 四半期の業績概況（平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 9 月期第 3 四半期	6,026	-	749	-	726	-
(参考) 15 年 9 月期	6,725	16.7	596	-	554	-

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前期増減率であります。
 当期より四半期業績を開示しておりますので、前年四半期実績及び増減率は記載しておりません。

(2) 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等

当四半期におけるわが国経済は、原材料の高騰や不安定な国際情勢等の不安要因があるものの、依然として好調な米国・中国経済による輸出の増加や設備投資意欲の向上により、企業収益が大幅に改善したことで、景気は回復基調で推移いたしました。

当社が関わる液晶・半導体・電子部品業界においては、パソコンや携帯電話が堅調に推移したことやアテネ五輪によるデジタル家電の市場拡大が期待できること等から、各業界メーカーが設備投資を大幅に増強したことで回復基調となりました。

このような経済、業界動向のもと、当社の売上高は、電子機器部門においてはMWS（マルチワイヤーソー）事業が当四半期における売上案件が若干少なかったものの、半導体機器事業が前期からの好調を維持し、また液晶機器事業においては国内における大型液晶テレビ関連設備と中国を中心とした海外向け設備が大きく貢献いたしました。繊維機器部門においては第 2 四半期に比べて APW シリーズ（ポケット口自動縫製機）が好調でありました。液晶モジュール組立部門は、上期後半の好調を維持いたしました。また利益面は、平成 14 年 9 月期下期より推進してまいりました基本方針により収益体質が改善したことが大きく貢献いたしました。

その結果、第 1 ~ 第 3 四半期累計の売上高は 60 億 26 百万円、営業利益は 7 億 49 百万円、経常利益は 7 億 26 百万円となりました。

事業の種類別売上高

	平成 16 年 9 月期 第 3 四半期 〔自 平成 15 年 10 月 1 日 至 平成 16 年 6 月 30 日〕		構成比 (%)
	百万円		
電子機器	4,454	73.9	
繊維機器	715	11.9	
液晶モジュール組立	856	14.2	
合計	6,026	100.0	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 財政状態の変動状況に関する定性的情報等

有利子負債残高が前期末に比べて 4 億 75 百万円減少し、10 億 8 千万円となりました。なお、平成 16 年 9 月期末現在では 10 億 15 百万円になる予定であります。

3 平成 16 年 9 月期の業績予想（平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 31 日）

平成 16 年 5 月 24 日に発表した業績予想等について、特に変更はありません。

(ご参考) 平成 16 年 9 月期の業績予想（平成 16 年 5 月 24 日発表）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	7,900	890	955	177.06

以 上